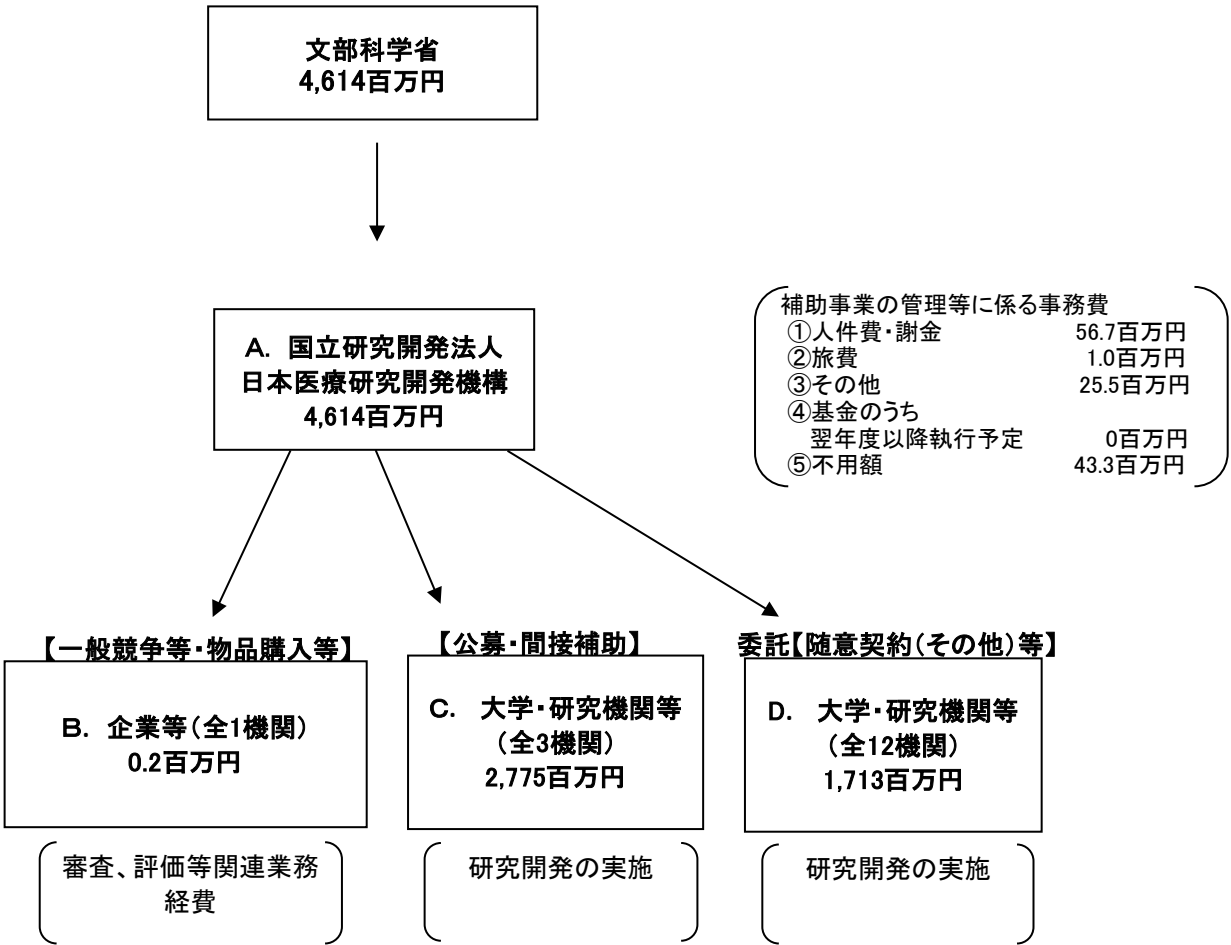


	令和5年度行政事業レビューシート				(文部科学省)		
事業名	ゲノム医療実現バイオバンク活用プログラム(B-cure)			担当部局庁	研究振興局	作成責任者	
事業開始年度	令和3年度	事業終了 (予定)年度	令和7年度	担当課室	ライフサイエンス課	ライフサイエンス課長 金井 宏行	
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	健康・医療戦略推進法 国立研究開発法人日本医療研究開発機構法			関係する 計画、通知等	健康・医療戦略(第1期:平成26年7月閣議決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日閣議決定)、医療分野研究開発推進計画(第1期:平成26年7月健康・医療戦略推進本部決定、平成29年2月一部変更、第2期:令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)、「統合イノベーション戦略2020」(令和2年7月17日閣議決定)、「バイオ戦略(基本的施策)」(令和2年6月26日統合イノベーション戦略推進会議決定)		
政策	9 未来社会に向けた価値創出の取組と経済・社会的課題への対応			主要経費	科学技術振興費		
施策	9-3 健康・医療・ライフサイエンスに関する課題への対応						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221215-mxt_kanseisk01-000026547-29.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	平均寿命は年々延びて男女ともに世界最高水準に達しており、1994 年に 14%、2007 年に 21%を超えた高齢化率(65 歳以上人口割合)は、2018 年には 28.1%に達するなどますます高齢化が進展している。総人口が減少する中で高齢化率は今後も上昇が見込まれるとともに、現役世代の減少は加速し、2040 年には現役世代 1.5人で 65 歳以上の者 1 人を支えることになる予想される。加えて、健康寿命も順調に延びており、2016 年には男性 72.14 歳、女性 74.79 歳となっている。健康寿命と平均寿命との差、すなわち疾病などの健康上の理由により日常生活に制限のある不健康期間は、2010 年から 2016 年の間に男女ともに約 0.3 年が短縮されたものの、依然として 10 年近くの期間を占めており、更なる短縮に向けた取組を実施することで、健康長寿社会の形成を目指す。						
現状・課題 (5行程度以内)	「健康・医療戦略」では、ゲノム・データ基盤の整備を推進するとともに、全ゲノム解析等実行計画等の実行により得られるデータの利活用を促進することで、ライフステージを俯瞰して遺伝子変異・多型と疾患の発症との関連等から疾患の発症・重症化予防、診断、治療等に資する研究開発を推進し、病態解明を含めたゲノム医療、個別化医療の実現を目指すことが掲げられている。						
事業概要 (5行程度以内)	我が国のバイオバンクを維持・発展・連携させるとともに、日本人における疾患関連遺伝子の同定や多因子疾患の発症リスクの予測・個別化医療の実現を推進する研究開発を実施する。また、ゲノム研究の基盤となる多様な疾患の生体試料等を保有する大規模バイオバンクの構築・高度化や日本国内の主要バイオバンクのネットワーク化と生体試料等の利活用促進を図るバイオバンク横断検索システムの充実化や、世界動向も踏まえた最新の技術を活用した疾患解析やニーズの高い疾患領域における技術開発、効率的かつ効果的なオミックス解析の加速化を図る。						
事業概要URL	https://www.amed.go.jp/program/list/14/05/010.html						
実施方法	補助						
補助率等	国立研究開発法人日本医療研究開発機構が実施する本事業について、当該経費の補助を行うもの【補助率:定額】						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	-	4,681	4,564	4,288	5,374
		補正予算(B)	-	-	-	579	
		令和5年度第1次補正予算				579	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	50	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	▲ 50	-	-	
		予備費等(E)	-	-	-	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	4,631	4,614	4,867	5,374	
	執行額(G)		-	4,631	4,614		
	執行率(%) =(G)/(F)		-	100%	100%		
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		-	99%	101%		
	令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)	
(項)		研究開発推進費			重要政策推進枠 1,580百万円		
(目)		医療研究開発推進事業費補助金	4,288	5,374			
		その他					
計(A)		4,288	5,374				

活動内容① (アクティビティ)		ゲノム・データ基盤の整備・利活用を促進し、ライフステージを俯瞰した疾患の発症・重症化予測、診断、治療等に資する研究開発を推進することで、個別化予防・医療の実現を目指す。									
↓											
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込	
		疾患の発症・重症化予測、診断、治療等に貢献する課題への支援	支援課題数	活動実績	件	27	22	25	25	－	
				当初見込み	件	27	22	25	25	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプットからのつながり)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)のうち、ゲノム・データ基盤プロジェクトの達成目標の1つに、将来的に疾患の発症・重症化予測、診断、治療等に貢献する研究成果の指標として、「研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数」が設定されている。									
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 6 年度		
		疾患の発症・重症化予測、診断、治療等に資する研究成果を創出する	研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数(累計)	成果実績	件	44	117	182	－		
				目標値	件	50	100	150	250		
				達成度	%	88	117	121.3	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されているゲノム・データ基盤に関する達成目標「研究成果の科学誌(インパクトファクター5以上)への論文掲載件数」(2024年度末までに900件)(※)に基づく。 ※達成目標の250件については、文科省相当分として設定									
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカムからのつながり)	「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)うちゲノム・データ基盤プロジェクトの達成目標の1つとして新たな疾患関連遺伝子・薬剤関連遺伝子の同定数」が設定されており、科学誌に掲載される優れた研究成果の創出が、新たな疾患関連遺伝子・薬剤関連遺伝子の同定へつながると考える									
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 6 年度		
		ゲノム研究の成果を、疾患の予防・診断・治療に繋げる	新たな疾患関連遺伝子・薬剤関連遺伝子の同定数(累計)	成果実績	件	10	16	29	－		
				目標値	件	1	3	4	7		
				達成度	%	1,000	533.3	725	－		
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		「医療分野研究開発推進計画(第2期)」(令和2年3月27日健康・医療戦略推進本部決定)において設定されているゲノム・データ基盤に関する達成目標「新たな疾患関連遺伝子・薬剤関連遺伝子の同定数」(2024年度末までに25件)(※)に基づく。 ※達成目標の7件については、文科省相当分									
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由									
		－									
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由									
		－									

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	補助金	医療分野の研究開発	4,614.5	役務費	評価委員会等の音声データ文字起こし	0.2
	計		4,614.5	計		0.2
	C.			D.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	人件費・謝金	人件費、謝金	1,256.9	その他	各種機器、システムの保守費等	372.6
	物品費	備品、消耗品等の購入費用	410.2	人件費・謝金	人件費、謝金	164.2
	その他	各種機器、システムの保守費等	395.6	間接経費	研究遂行に関連する必要経費	81.9
	旅費	旅費	5.6	旅費	旅費	4.6
				物品費	備品、消耗品等の購入費用	2.5
	計		2,068.3	計		625.9
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					チェック	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立研究開発法人日本医療 研究開発機構	9010005023796	医療分野の研究開発	4,614.5	補助金等交付	-	-	-

B

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社Swimmy	8010401148405	評価委員会等の音声データ 文字起こし	0.2	一般競争契約 (最低価格)	3	75.4%	—

C

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	国立大学法人東北大学	7370005002147	東北メディカル・メガバンク計画1件	2,068.3	補助金等交付	-	-	-
2	学校法人岩手医科大学	4400005000752	東北メディカル・メガバンク計画1件	360.7	補助金等交付	-	-	-
3	国立大学法人東京大学	5010005007398	利活用を目的とした日本疾患バイオバンクの運営・管理1件	345.6	補助金等交付	-	-	-

D

[illegible]